

まらり)★



★今月の話題はこれ!!

- 青年部、女性部総会開催
- 参事退任、就任ご挨拶 他

2019

4

No.872

第64回JAめまんべつ女性部通常総会開催



議長 近藤仁美さん

3月4日(月)、女満別研修会館において、第64回JAめまんべつ女性部(岡喜美子部長、部員数154名)通常総会が145名参加のもと開催されました。

総会では、岡部長の挨拶後、山下町長、真鍋専務理事、松田青年部長に祝辞を頂きました。

議長に開陽地区の近藤仁美さんを選出し、平成30年度事業報告並びに収支決算報告、平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について審議され、提案された全議案が可決承認されました。

総会終了後には、講師に大空町役場総務課主幹の稲川浩司氏をむかえ「大空町の防災の取り組みについての研修会」を開催しました。

また、会場内では各支部の作品展示と今年より部員の作品販売が行われました。



総会の様子



研修会の様子



湖南地区



日進地区



開陽地区



大成地区



大東地区



中央地区



住吉地区



豊里地区



家の光コーナー



販売の様子



役員の皆さん



岡部長

各生産組織の総会・講習会が開催されました

2月から3月にかけて各生産組織の総会や講習会が開催されましたのでご紹介します。



2月19日 加工馬鈴薯生産部会



2月15日 長芋生産部会



2月21日 花卉生産部会



2月15日 てん菜種子生産組合



2月22日 めまんべつハウスアスパラ生産部会



2月22日 軟白ねぎ生産部会



2月19日 大豆生産営農集団



2月27日 ブロッコリー生産部会



3月4日 加工ポテト生産部会



3月13日 加工人参生産部会



3月18日 種子馬鈴薯耕作組合



3月19日 採種小麦生産部会



3月20日 稲作生産組合

第67回JAめまんべつ青年部通常総会

第67回JAめまんべつ青年部(松田俊行部長・部員92名)通常総会が6名出席のもと3月1日(金)に開催されました。

総会では、松田部長挨拶後、来賓の川口副町長、真鍋専務、農民協議会高橋委員長、岡女性部部長に祝辞を頂きました。議長に開進巴沢支部の谷直樹さんを選出し、議案の審議を行いました。

平成30年度事業報告・収支決算、平成31年度事業計画・収支予算案、平成31年度負担金徴収方法が提案され、すべて可決されました。

その後、平成31年度の役員改選があり、部長に村田将彦さん(大成)、副部長に谷大輔さん(本郷)、書記長に山田直靖さん(住吉・豊里)が選任され、本年度の事業を新役員と取り組んで行くこととなりました。



青年部新役員



青年部前役員

平成31年度 JAめまんべつ青年部役員名簿

(敬称略)

執行委員会	協議会	食育部会役員	参	与	支	部	長	理	事	監	事	書	記	長	副	部	長	部	長		
石	渡	河	山	松	嶋	高	高	吉	宝	岡	伊	涌	山	豊	竹	磯	山	丹	山	谷	村
(昭和・湖南・朝日)	(日進・開陽・巴沢)	(昭和・湖南・朝日)	(日進・開陽・巴沢)	(大東・中央)	(住吉・豊里)	(大東・中央)	(大東・中央)	(日進・開陽・巴沢)	(昭和・湖南・朝日)	(住吉・豊里)	(本郷)	(昭和・湖南・朝日)	(昭和・湖南・朝日)	(昭和・湖南・朝日)	(日進・開陽・巴沢)	(日進・開陽・巴沢)	(住吉・豊里)	(住吉・豊里)	(本郷)	(大成)	(大成)
和	将	亮	村	神	田	田	橋	橋	田	沢	内	藤	嶋	本	島	内	江	谷	治	田	大
樹	太	太	二	行	寛	也	幸	翼	樹	大	良	裕	忠	忠	竜	武	寿	公	孝	直	大
樹	太	太	二	行	寛	也	幸	翼	樹	大	良	裕	忠	忠	竜	武	寿	公	孝	直	大

退任の挨拶

J Aめまんべつ青年部前部長 松田 俊行

3月1日の第67回めまんべつ農業協同組合青年部通常総会をもちまして、何とか青年部長という大役を終える事が出来ました。過ぎ去ってしまった、あつという間の1年ではありましたが、自分なりに青年部と真剣に向き合っている、役員一丸となり事業運営にあたりました。事業運営に当たり農協、農協女性部、商工会青年部、役場など、関係機関の皆様におかれましては、ご理解、ご支援、ご協力を賜りました事に厚くお礼申し上げます。

平成30年度については92名の盟友と昨年より2名減になり、これからも盟友が減っていくであろう組織の意義などを考え、「明確な目的を持つ」、「想いを持った引継ぎ」を実行に移しました。例年通り試験、研修、交流、食育の4部会ですが、ただ単に同じ事をするのではなく、事業に明確な目的を持ち、そのために何が必要なのか考えてもらい様々な事にチャレンジしました。そしてこのチャレンジという大きな一歩を道と成すために後任に何を考え、やったのかをしっかりと引き継ぐことで組織として成長し、盟友にとって価値のあるものを築こうと考えました。一年の集大成となる収穫感謝まつりでは盟友に色々な事を考え、動いてもらい、また沢山の関係者に助けられ、全部門で完売を達成する事が出来ました。

私はこの一年、部長をやってみて自分の無能さをますます嫌になるほど痛感しました。物事を見渡す視野、人を引き付ける力、芯のぶれない考えなど色々な事を共に三役をやった山神勇二君、河村亮太君、事務局の日野壮太君に魅せてもらいました。この4人で三役をやらせてもらえた事は本当に良い経験となりました。この経験を生かし、農協の事業運営や青年部活動に一農家であり、青年部員として微力ながら協力していきたいと考えています。

最後に、めまんべつの農畜産物が誰からも求められ、めまんべつに住み、めまんべつで農業をしたいと思ってもらえるような未来を目指し、地域の担い手として頑張る青年部に皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



前三役の皆さん

山神副部長

松田部長

河村書記長

就任の挨拶

J Aめまんべつ青年部部长 村田 将彦

この度、第67回J Aめまんべつ青年部通常総会において平成31年度の役員体制が決まり、部長として青年部の代表を務めさせていただきますこととなりました。

日頃より青年部活動に対し、ご理解ご協力いただきありがとうございます。皆様、J A、女性部、役場、普及センターの他、数多くの関係機関の皆様にご感謝申し上げます。

青年部は年間の活動を通して、作付品目や年代が違っていても様々な人とのつながりができ、情報交換や意識を高めることができる組織です。ですが日々の仕事との兼ね合いなどから、青年部活動を負担に感じていたり、楽しめていない部員も少なくないのが現状です。

青年部は先輩方がより良くしようと努力を重ねてきた組織です。私達はその取り組みを引き継ぎ、青年部綱領にある「農業を通じ、地域社会に貢献する」「食と農の価値を高める提言を行う」「J A運動の先頭に立つ」

「多くの出会いから自己を高める」「組織活動の実践により、あすの担い手を育成する」を目的とし、部員一人一人が活動を楽しみながら地域を盛り上げていく。そんな青年部を作りたいと考えています。

青年部は失敗を恐れず色々な事に挑戦ができる組織です。様々な問題を抱える昨今の農業情勢ですが、これからの女満別農業を盛り上げるべく青年部一丸となり挑戦して参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

1年間、どうぞよろしく願います。



新三役の皆さん

谷副部長

村田部長

山田書記長

女満別町麦作振興協議会 農林水産大臣賞受賞

女満別町麦作振興協議会（会長 北村裕信さん）が平成30年度全国麦作共励会にて農林水産大臣賞受賞しました。

表彰式には北村会長始め三役、農協事務局が出席致しました。

組合員の皆さんの日頃の良質麦生産への意識の高さや適期収穫への取り組みが評価された結果だと思われます。

3月には受賞祝賀会が開催され、山下町長始め、歴代会長など多くの方が参加し盛大に行われました。今後も良質麦生産に向けた取り組みにご協力を宜しくお願い申し上げます。



J AめまへつRTK利用協議会 講習会開催

2月27日（水）、農協大会議室においてRTK利用協議会（会長 丹治貴史）主催の講習会を開催致しました。

今回の講習会では、農業用ドローンについて、エーステジオホーツク営業所（桑原電装株式会社）伊藤氏を講師として招き、「農業用ドローンの今後と飛ばすのに必要なことについて」という題目で講義を頂きました。ドローンに興味のある方や近い将来導入を検討している方も参加され、熱心に話を聞いておりました。



てん菜共同育苗施設操業

今年度4年目を迎える、てん菜共同育苗施設の操業が3月2日（土）より行われました。共同育苗施設では、女満別地域の移植面積の半分程度にあたる約600ha分の苗の製造、供給を行いました。JA職員やパート等による流れ作業により1日約2,000冊製造、運送業者により2つの班で敷並べを行いました。今年は温暖なことから敷並べが心配されましたが、24日に無事供給が完了致しました。利用いただいた皆様には、良い評価を頂きました。今後も利用された方の声を聞きながら、取り進めていきたいと思います。



退任の挨拶

J Aめまんべつ前参事 菅野博正



この度、平成31年3月31日付をもちまして退職させていただきます。昭和54年4月に入組し以来40年間の永きにわたり勤めさせていただきました。本当に永い間だお世話になり有り難うございました。

振り返りますと、最初の配属部署が管理係、その後、融資係、Aコープ、給油所、農産係、貯金共済係、農産課、管理課、そして平成25年4月から参事として6年、これが私の農協職員としての40年間の足跡であります。特に参事に任命された以降は自身の能力不足を常に感じながらの6年間であります。その間、組合員の皆様には多々ご迷惑をお掛けしてしまい、自責の念を感じているところであります。

私が入組した昭和54年当時の組合員戸数は現在戸数の約2倍の574戸であり、経営形態の内訳は、田専225戸・畑作243戸・酪農43戸・畜兼63戸であり、合計作付面積も6,028haで、1戸当たりになりますと10ha程の経営規模でありました。主要な作物は麦・てん菜・水稻・馬鈴しょ・豆類であり、特に低台地区では約1,000ha程の水稻作付がありました。国の農業政策によって女満別地域の田園風景も大きく様変わりしたと感じております。

現在の農業・農協を巡る情勢は相次いで発効した大規模な貿易協定などにより国内農業はこれまでにない自由化レベルにさらされることになりますし、農協改革の行方も心配される所です。先が見通せない環境にありますが組合員皆様と農協役員とが一丸となり協同の成果を実現し変革の時代を乗り切っていただけのもとの確信しております。

最後に、女満別農業と組合員皆様のご発展とご多幸をご祈念申し上げますとともに40年間農協職員として勤めさせていただきました女満別町農協に心より感謝申し上げます、退職に際しましてのお礼のご挨拶に代えさせていただきます。

就任の挨拶

J Aめまんべつ参事 前田英典



陽春の候 組合員の皆様におかれましては春耕期をひかえご多忙のことと存じます。

この度2月20日開催の理事会におきまして、菅野前参事の後任として参事に任命され4月1日付で

就任いたしました。

何分にも浅学非才の身であり、このような参事職という重責を担うことに職責の重さを痛感し、大変緊張しているところであります。力不足の点が多々あるかと思いますが、新たな決意のもと組合員の皆様の負託に応えられるよう誠心誠意努力する所存であります。

今、農業を巡る情勢はTPP11、日EU・EPAが相次いで発効され、更には米国との二国間交渉も控え日本農業はかつてない市場開放に直面し、今後の国内農畜産物価格の動向と農業所得に与える影響が心配される所です。

また、農協を取り巻く環境では、本年より公認会計士監査に移行するなど高度な内部管理体制の確立が求められており、多くの課題が山積しております。

このような厳しい情勢ではありますが、農協が組合員の期待に応え、信頼され貢献できる存在となるため、役員一丸となり課題克服に向け取り組んで参る所存であります。

最後に、組合員の皆様には今後ともご指導ご支援を賜りますとともに、ご健勝と今年も豊穡の秋を迎えられますこと、更には作業の安全を祈念申し上げます、参事就任のご挨拶とさせていただきます。

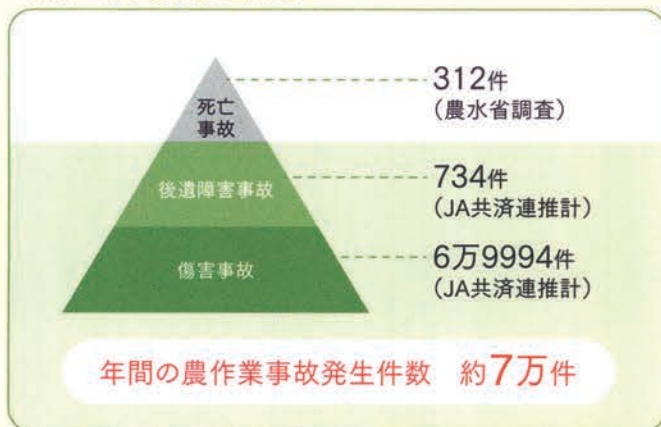


明日も農業をつづけるために。

これまでJA共済連が農家組合員の方々への保障提供を通じて蓄積してきた大量の共済金支払データを分析することで、今までは見えていなかった農作業事故の実態が明らかになってきました。農作業の安全について、いま一度考えてみるとともに、万一に備えて共済の加入も検討してみましょう。

協力: 全国共済農業協同組合連合会 (JA共済連) <https://www.ja-kyosai.or.jp>

図表1 農作業事故の全体像



死亡以外のけがも含めた農作業事故の全体については、統計データの不足からこれまで明らかにされていませんでした。JA共済連では大量の共済金支払データを分析することで、後遺障害事故は死亡事故の約2倍、傷害事故は死亡事故の約224倍起きていることを確認しました。この倍率を農林水産省の死亡事故調査(2016年)の312件に掛けることで、農作業事故が年間約7万件発生しているものと推計しています(図表1)。

冰山の一角だった死亡事故
年間約7万件的事故が発生

図表2 農作業の特性と事故の関係

農作業の主な特性		データの検証結果	まとめ
① 環境	斜面、高所作業が多い	「転倒(同一平面)」「墜落」が事故全体の過半数を占める	事故が起こりやすい
	狭く暗い施設、炎天下が多い	・施設事故は約2割を占める ・発生時期は7~9月で約3割を占める	
② 物	さまざまな機械、用具、家畜を扱う	機械、用具、生物だけで約5割を占める 機械、用具、家畜の事故の重症度は他の事故よりも高い	重大事故につながりやすい
	高齢者が多い	高齢なほど重症度が高い	
③ 人	ひとりでの作業が多い	事故後すぐに発見されないケースが散見される	

なぜ農作業事故がこれほど多いのでしょうか。事故には、場所や天候といった「環境」、農機具や生物などの「物」、作業者である「人」という三つの因子があります。それぞれの因子について、農業ならではの特性があり、三つの要因が積み重なることにより、「事故の起こりやすさ」や「重大事故へのつながりやすさ」が大きくなってしまいうのです(図表2)。

なぜ農作業事故が起こるのか



特に注意したい「物」の事故

重大事故は一度起きれば今後の生活に大きな影響を与え、農業の継続が困難になることもあります。とりわけ機械や用具などの「物」による事故は、重大事故につながりやすく、注意や対策が必要です。

歩行型農機

下敷き
巻き込まれ
挟まれ



対策

バックの際は必ず後方を確認。ロータリーと足の位置は余裕をもって

乗用型農機

公道・ほ場での
転倒・転落
乗降中の転倒



対策

昇降路や公道ではブレーキの連結ロックを。降車時は後ろ向きに

刃のある器具

巻き込まれ
刃との接触



対策

整備は、必ず回転を止めて行う

脚立・はしご・斜面

不安定な場所
からの転落



対策

はしごや脚立は安定させて設置。高所作業では必ずヘルメットの着用を



映像で学ぶ農作業事故

『明日も農業をつづけるために。』公開中

JA共済ホームページ「TVCM・映像ライブラリ」からご覧いただけます。

<http://www.ja-kyosai.or.jp/enjoy/cf/index.html>



イラスト:ゆきたけし



ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは

フリーダイヤル安心サービス

(24時間 365日対応)

JA共済事故受付センター

事故等の
場合には

0120-258-931

レッカー移動や
故障時の応急対応が
必要な場合には

JA共済サポートセンター

0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

安心の5つのサービス

- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス
- 夜間休日初期対応サービス
- 休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし 事故が起きたら・・・

なにより
119番

まず、
被害者の
保護を。

応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断をしてもらうようにしましょう。事故車をそのままにしておくと、交通渋滞や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。

かならず
110番

警察に
必ず
事故通報を。

安全を確保したら、警察への届出と相手方の確認を行いましょ。共済金の請求をするときには、交通事故証明書や医師の診断書などが必要です。そのためにもすみやかな届出が大切です。

■警察には次の事項を連絡します。

- ①事故発生の日時と場所。
- ②負傷者の人数とその程度。
- ③壊したものとその程度
- ④事故に対して講じた措置。

わすれず
JAへ

事故通知を
JAへ。

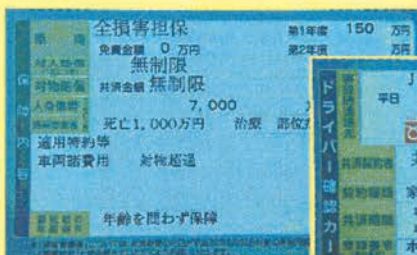
警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。

■JAへも次の要点をご連絡ください。

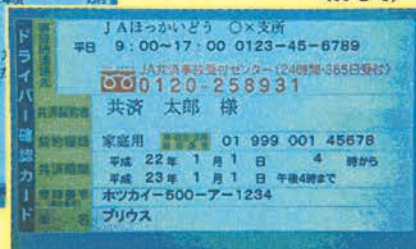
- ①事故状況・日時・場所。
- ②相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。
- ③目撃者の住所・氏名。
- ④届出警察署と担当官。

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。



(うら)



(おもて)

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

事故にあった！ 故障して動かない！！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA 共済
事故受付
センター
0120-258-931

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA 共済
サポート
センター
0120-063-931



POWER UP! レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が **無料!**

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が **無料!**

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能なお車の応急対応を行います。



※事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。

※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日:17時~23時、土日・祝日:8時~23時です。

※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出動拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日:17時~21時(対応は22時まで)、土日・祝日:9時~21時(対応は22時まで)です。

※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両賠償費用保障特約のついた車両単独事故が対象となります。

※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日:17時~0時、土曜:終日、日曜・祝日:0時~17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)

※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。

※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

お問い合わせ先 0152-74-2132 JAめまんべつ 共済課

JA共済

1801999007



理事会レポート

第3回3/18開催

◇議案

- ① J A 全国監査機構による平成30年度財務諸表等の監査報告について
- ② 監事会による平成30年度財務諸表等の監査報告について
- ③ 平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、附属明細書及び部門別損益計算書について
- ④ 第71回通常総会の招集及び議案並び報告事項について
- ⑤ 議決権行使書面の取扱いについて
- ⑥ 特別加給退職金の支給について
- ⑦ 経営組織機構の一部変更について
- ⑧ 職制規程の改正について
- ⑨ 職員就業規則の改正について
- ⑩ 準職員就業規則の改正について
- ⑪ 安全衛生規程の改正について
- ⑫ 育児および介護休業規程の改正について
- ⑬ 建設工事規程の改正について
- ⑭ 共同計算基本要領の改正について
- ⑮ 特定組合員への資金貸付について
- ⑯ 大口信用供与先への資金貸付について
- ⑰ 北海道常例検査指摘事項に対する改善報告書の提出について
- ⑱ 組合員の持分譲渡について

正組合員3名の出資金持分譲渡が承認されました。

組合員状況 3月末日現在

組合員数	前月対比
正組合員 439名 (内17法人含む)	(+1)
戸数 281戸	(±0)
准組合員	
団体 156団体	(±0)
個人 279名	(-1)

＝協議報告事項＝

1. 第5回オホーツク農協畑作青果対策委員会について
2. 第28回 J A 全国大会について
3. J A 北海道中央会通常総会並びに各連合会臨時総会について
4. 地区懇談会の顛末について
5. 住宅ローンの金利について
6. 大口信用供与先の経営状況等について
7. 平成30年産原料てん菜の精算及び収支報告について
8. 参事の事務引継について
9. 処分未済持分の譲渡について
10. 組合員の異動について
准組合員から正組合員への資格変更1名が報告されました。

3月11日開催 北見黒毛和牛市場成績

(価格 円)

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	805,149	761,884	830,481	813,031
	出場頭数	206	235	28	34
	成立頭数	187	212	28	31
雌牛	平均価格	725,760	633,455	772,335	673,094
	出場頭数	156	153	16	18
	成立頭数	150	137	16	17

※価格は1頭平均・税込価格

3月号の答え



- 4……窓に人がいる
- 5……帽子をかぶっていない
- 6……サングラスをしていない
- 9……看板の矢印の向きが違う
- 11……ゼッケン番号が違う

正解された中から抽選で2名の方に粗品進呈します。尚、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

3月・4月はお子さんのいる家庭では、卒業式や入学式、新学期の準備などなにかと忙しい日々ではないでしょうか？子供の成長を感じる良い機会となるのではないのでしょうか。成長とともに、出費も多くなり親は大変ですが…。

話は変わり、これから農繁期を迎えます。農作業安全に心がけ気をつけて作業を行いましょう。

J A めまんべつ 営農課

未来を拓く協同組合 JAと農業

監修=JCA (日本協同組合連携機構)

「地域」に根ざした協同組合

JAグループは、JAのあるべき姿を「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」と定め、「持続可能な農業」と「豊かでくらしやすい地域社会」の実現を目指しています。そのために、全国各地域に設けている支所・支店や営農センターなどを通じて総合事業を展開し、組合員の営農とくらしを支えています。

買い物が困難な地域を対象に移動購買車・金融店舗車を巡回させているJA、地方公共団体など多様な組織と連携協定を結び、高齢者の見守り活動も行っているJAもあります。JAは、地域を支える重要な生活インフラとしての機能をこれからも強化していきます。

語句解説

【総合事業】 (そうごうじぎょう)

栽培技術や農業経営にかかる助言を行う営農指導事業、農産物の販売や農業資材の購入、ファーマーズマーケットの運営などの経済事業、貯金などの信用事業、生命や建物、車などの共済事業、高齢者福祉や健康管理、旅行などJAの幅広い事業全体のこと。ATM、Aコープやガソリンスタンド、病院や介護事業の運営もそのひとつ。

組合員・地域住民の事業利用例



耕そう、大地と地域のみらい。

退職のご案内



金融部 共済課 共済係
清野 志帆

勤 続：6年0カ月
退職日：平成31年3月31日付



購買部 資材課 資材係
相澤 唯

勤 続：6年0カ月
退職日：平成31年3月31日付



管理部 管理課 管理係
小原 瑞樹

勤 続：5年0カ月
退職日：平成31年3月31日付



金融部 金融課 融資係
斉藤 結唯
(旧姓坂本)

勤 続：4年0カ月
退職日：平成31年3月31日付

～お世話になりました～



愛車紹介コーナー

今月号は、住吉地区松田俊行さんのRX-8を紹介！
この車が発売された当時から欲しかったのですが、タイミングが合わず購入できなかったところ、知り合いが車を乗り換えたため、譲ってもらえることになり、購入に至ったそう。
主な変更点はフロントバンパー、マフラー等で、特にマツダスピード製のバンパーがお気に入りとのこと。
これからホイールの交換と、エンジンの載せ替えを検討していると話していました。
運転していてとても楽しい車だと語る松田さんの笑顔がとても印象的でした。

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



応募要項

正解者の中から抽選で2名の方に粗品を差し上げます。
締め切りは4月26日(金)、JA正面玄関の応募箱に投函するかFAXにて応募下さい。FAX番号は応募用紙等に記載しています。

発行／女満別町農業協同組合
〒099-2324 網走郡大空町女満別西4条5丁目1番27号 TEL 0152-74-2131・FAX 0152-74-3344
編集／営農部営農課 印刷／有限会社 サンケイプリント社